

高度な技術に頼る現状を分析し、生産進捗の可視化や技術承継のデジタル化を検討。人依存の成長モデルから脱却し、短納期要求に応える強靱な組織を構築するためのDX計画を策定。

清和ジーテック株式会社				https://segtec.jp/index.html	
本社所在地	出雲市斐川町上直江2139-5	資本金	9,250万円	事業概要	歯車関連加工機の製造・販売
代表者名	達 俊彦	従業員数	65名		
設立年	1920年	業種	製造業		

背景

- 高度な加工技術と自社一貫体制を強みとするが、生産能力が熟練工の個のスキルに強く依存しており、人手に頼った規模拡大が限界に達している。
- 部署間の連携が紙や口頭などのアナログな手段に頼っており、情報の滞留や伝達ミスが発生し、現場の対応力を削いでいる。
- 新人の教育に5~10年という長期を要し、その間の教育負荷が熟練者の生産性を低下させるという悪循環が生じている。
- 海外市場からの需要増加に伴い、圧倒的な短納期とコスト競争力が強く求められる転換期を迎えている。

計画の骨子

生産管理基盤の刷新と可視化の推進

- ▶ 生産管理システムを最新版へ刷新し、現場での実績入力を徹底することとした。
- ▶ リアルタイムな進捗把握と原価管理の精度向上を実現し、納期遅延や失注リスクの解消を図る計画を策定した。

動画活用による技能承継の推進

- ▶ 熟練工の「カン・コツ」を短尺動画で可視化し、現場で即座に確認できるデジタルマニュアル体制を構築することとした。
- ▶ 指導側の負担軽減と新人教育期間の半減を達成し、限られた人員での生産能力最大化を目指す方針を策定した。